

第104回全日本スキー選手権大会 開催要項

ノルディックコンバインド競技

- 主催 公益財団法人全日本スキー連盟
- 主管 公益財団法人北海道スキー連盟、公益財団法人札幌スキー連盟
- 後援 北海道、札幌市、公益財団法人北海道スポーツ協会、一般財団法人札幌市スポーツ協会、株式会社札幌振興公社
- 期日 令和8年3月4日（水）
- 会場 札幌市宮の森ジャンプ競技場、札幌市白旗山距離競技場
- 実施要領

選手受付（ジャンプ）	8時00分	宮の森ジャンプ競技場運営本部
国旗掲揚	8時45分	
ジャンプ試技開始	9時00分	
ジャンプ競技開始	9時30分	
選手受付（クロスカントリー）	12時30分	白旗山距離競技場運営本部
クロスカントリー競技開始	14時00分	
閉会ならびに表彰	競技終了後	白旗山距離競技場スタジアム
- 参加資格 (1)全日本スキー連盟2026年度登録選手で、SAJスキー補償制度もしくはスポーツ傷害保険、またはこれに準ずる傷害保険に加入のもの。
(2)中学生以上の選手
- 競技方法および競技規則 ジャンプ競技はノーマルヒル(HS 100)
クロスカントリー競技は男子組10km(F)、女子組は5km(F)の個人グンダーセンで行う。
この要項に定めた以外は全日本スキー連盟競技規則による。
- 組別 女子組 男子組
- 申し込み (1)申込方法 WEBエントリーサイト「**エントリープラス**」よりお申し込みください。
※必ず札幌スキー連盟HP内「利用マニュアル」をご確認ください。
札幌スキー連盟HP 競技別サイト「コンバインド」
URL: <https://www.age.ne.jp/x/sas/combined.html>
※初めて「エントリープラス」を利用する方は事前に参加者登録が必要です。
(2)申込期間 **令和8年1月30日（金）～令和8年2月16日（月）**
※上記期間以外は申込が出来ませんのでご注意ください。
(3)参加料 **8,000円**
※WEB(エントリープラス)申込後、各種クレジットカード・コンビニ等でお支払いください。
(参加料のほかに手数料がかかります。)
※支払期限までに決済が完了していない場合、自動的に申込は取り消されますのでご注意ください。
(4)ドロー 第97回宮様大会までのポイントリストを採用。
- 表彰 各組1位から6位まで表彰する。
- T C M および公式練習 3月2日(月) 伊藤杯ノルディックコンバインド競技大会2026と兼ねてチームキャプテンミーティング、公式練習およびPCRを行う。

9時00分	チームキャプテンミーティング
10時00分	公式練習
公式練習終了後	伊藤杯PCR
伊藤杯PCR終了後	全日本選手権PCR

【重要】1本目:公式練習 2本目:伊藤杯PCR 3本目:全日本選手権PCR
*公式練習は伊藤杯のビブで行い、全日本選手権のみ参加の選手は伊藤杯最終選手の後に続く。
- その他 ◇電話・ファックスでの申込は受付ないので注意のこと。
◇悪天候など、止むを得ない理由により競技を中止した場合、参加料は返金いたしません。
◇取得した個人情報、大会運営に関する業務以外には使用いたしません。
- 大会事務局 〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル3階
公益財団法人 札幌スキー連盟
TEL: 011-221-1661
URL: <https://www.age.ne.jp/x/sas/>



【日本アンチ・ドーピングについて】

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
2. 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。
親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。
18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。
ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。
親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。
アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>)にて確認して下さい。